

PAT-NO: JP02004127865A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2004127865 A

TITLE: TABLE LAMP WITH NEGATIVE ION GENERATOR

PUBN-DATE: April 22, 2004

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
MORI, TOMOTERU	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
HITACHI LIGHTING LTD	N/A

APPL-NO: JP2002321804

APPL-DATE: September 30, 2002

INT-CL (IPC): F21V033/00, B03C003/02 , B03C003/40 , H01T023/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To relieve a burden that a balancer for a weight for stabilizing a table lamp as a whole must be made of a metal part or the like and mounted.

SOLUTION: This table lamp is equipped with: a negative ion generator 21; a fan motor 31 for blowing the negative ions; and a transformer (step-down transformer) 32 for driving the fan motor 31. The transformer 32 is disposed in a table lamp base 4 mounted on a flat surface.

COPYRIGHT: (C)2004,JPO

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-127865

(P2004-127865A)

(43) 公開日 平成16年4月22日(2004.4.22)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>

F I

テーマコード (参考)

F 2 1 V 33/00

F 2 1 V 33/00

D

3 K 0 1 4

B 0 3 C 3/02

B 0 3 C 3/02

A

4 D 0 5 4

B 0 3 C 3/40

B 0 3 C 3/40

C

H 0 1 T 23/00

H 0 1 T 23/00

// F 2 1 Y 101:00

F 2 1 Y 101:00

審査請求 未請求 請求項の数 1 番面 (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願2002-321804 (P2002-321804)

(22) 出願日 平成14年9月30日 (2002.9.30)

(71) 出願人 000005474

日立ライティング株式会社

東京都千代田区神田須田町二丁目5番地2

(72) 発明者 森 友照

茨城県龍ヶ崎市若柴町69番地 日立照明株式会社内

Fターム(参考) 3K014 AA01 RB00 RB03

4D054 BA19 CB03 EA01 EA11

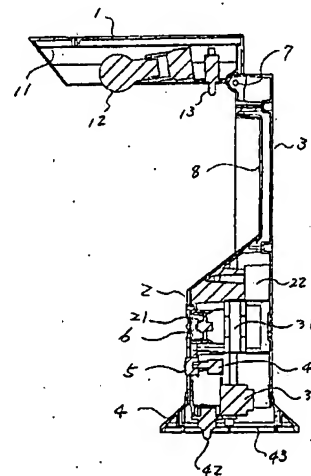
(54) 【発明の名称】 マイナスイオン発生器付き電気スタンド

(57) 【要約】

【課題】 スタンド全体を安定させるためのウエイト用バランスを金属部品等で作製装着しなければならないという負担を緩和する。

【解決手段】 マイナスイオン発生器21を備える。マイナスイオンを送風するためのファンモータ31を備える。前記ファンモータ31を駆動するためのトランス(ダウントランス)32を備える。このトランス32を、平坦面上に載置するスタンドベース4内に配置する。

【選択図】 図1



## 【特許請求の範囲】

## 【請求項 1】

マイナスイオン発生器を備え、マイナスイオンを送風するためのファンモータを備え、前記ファンモータを駆動するためのトランスを備え、このトランスを、平坦面上に載置するスタンドベース内に配置したことを特徴とするマイナスイオン発生器付き電気スタンド。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

## 【発明の属する技術分野】

本発明はマイナスイオン発生器付き電気スタンドに関する。

## 【0002】

## 【従来の技術】

従来はマイナスイオン発生器付き電気スタンドが照明器具として存在していなが、一般の電気スタンドにおいては、平坦面上に載置するスタンドベース内に金属製のバランスを使用していた。これはとスタントとしての安定性を保持するためである。

## 【0003】

## 【発明が解決しようとする課題】

上記従来技術は光源を収納しているセード部と、セード部を垂直方向に保持する支柱部と、支柱部を机等の平坦面上に載置するベース部から構成されており、このベース部にスタンド全体を安定させるためのウエイト用バランスを金属部品等で作り装着しなければならない問題点があった。

本発明は、マイナスイオンを送風するためのファンモータのトランスに着目し、ウエイト用バランスを不要とする。

## 【0004】

## 【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、マイナスイオンを送風するためのファンモータを駆動するトランスの配置を、平坦面上に載置するスタンドのベース内に配置し、これをウエイト用バランスとしても機能するようにしたものである。

## 【0005】

## 【発明の実施の形態】

図1～図4を用いて本発明の実施形態について説明する。図1は本発明によるマイナスイオン発生器付き白熱灯電気スタンドの縦断面図で、光源を収納しているセード1は上下に開閉する回動式である。ここで、図3はセード1が約45度に開いた状態、図4は閉じた状態の斜視図である。

図示の電気スタンドはマイナスイオン発生器21を備える。マイナスイオンを送風するためのファンモータ31を備える。前記ファンモータ31を駆動するためのトランス（ダウントランス）32を備える。このトランス32を、平坦面上に載置するスタンドベース4内に配置する。以下、補足して説明する。

## 【0006】

セード1は調節ねじ7を介し後ろカバー3と一体になっている本体8にジョイントされており、90度の範囲で開閉する。ここで光源の点滅はセード1の開閉と連動しており、ランプスイッチ13により閉じた状態から約25度以上開いたときに点灯する。

マイナスイオン発生ユニットは本体8と後ろケース3の下部に収納している。具体的にはマイナスイオン発生器21はマイナスイオン発生回路22と電気的に接続されており本体8にねじ止係止されている。また、マイナスイオンを吹出し拡散させるファンモータ31はマイナスイオン発生器21の直後に配置し、ファンモータ31を駆動するトランス32と電気的に接続されており、いずれも本体8にねじ止係止されている。

## 【0007】

本発明では、このトランス32の配置をスタンドのバランスとして機能させるため、円筒形状の本体8の最下方でかつ、最も後方となる位置のベース4の中に設置するようにした。なお、バランスを保持するもう一方の手段は、スタンドを机等の平坦面上に載置するべ

ース 4 の外径を本体 8 より大きくしている。ベース 4 の下面は底板 4 3 によりカバーしている。

本配置による構造により、スタンドの安定性を確保するためのバランスが不用となり、コスト低減につながる。

【 0 0 0 8 】

【発明の効果】

本発明によれば、マイナスイオン発生器付き電気スタンドの安定性を確保するためのバランスが不用となり、コスト低減につながる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明のマイナスイオン発生器付き白熱灯電気スタンドの縦断面（図 2 の A - A 10 断面図）である。

【図 2】同上スタンドの正面図で、セードが 90 度開いた状態である。

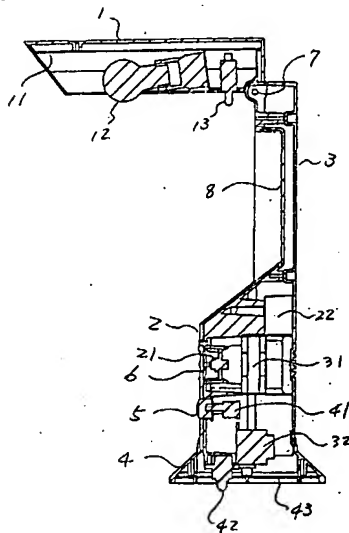
【図 3】同上スタンドの斜視図で、セードが約 45 度開いた状態である。

【図 4】同上スタンドの斜視図で、セードが閉じた状態である。

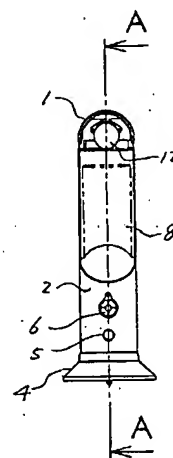
【符号の説明】

1 …セード、2 …前ケース、3 …後ろカバー、4 …ベース、5 …マイナスイオンスイッチ、6 …マイナスイオン吹出し口、7 …調節ねじ、8 …本体、13 …ランプスイッチ、21 …マイナスイオン発生器、22 …マイナスイオン発生回路、31 …ファンモータ、32 …トランス、43 …底板

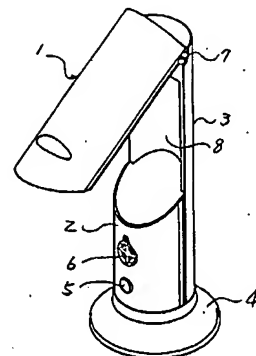
【図 1】



【図 2】



【図 3】



【図 4】

